

2013 年会計年度 事業報告

(2013 年 4 月 1 日 - 2014 年 3 月 31 日)

【】内は参加人数

前年度に一般社団法人として新たなスタートを切り、2年目を迎えた2013年度の協会活動は、引き続き必要な情報を役員間で素早く共有し迅速な意思決定に基づき行動することに努めた。諸イベントについては、予定したとおりに実施しえた。

調査研究事業において内容に定評を得ている「シンガポール共和国の概況」を初めて会員全員に配布できたこと、セミナー・講演事業においては下記のように3つの講演を主催し得たことなどは、当年度のハイライトとも言える活動となった。

前年度に引き続き財政基盤強化の一環として寄付を継続募集することとし、2014年2月末を以て一区切りとした。2012年度、2013年度の寄付合計額は、3,182,980円に達し、季刊誌「シンガポール」2014年春号に支援をいただいた会員の皆様の氏名を掲載し謝意を表した。

このほか前年度に引き続き、シンガポール大使館をはじめとする各機関や、日本各地のシンガポール友好団体、更に日本香港協会をはじめとする諸団体との交流に努めた。

1、調査研究事業

上述のように2013年版「シンガポール共和国の概況」について会員サービスの一環として全員に配布した。今後も年1回ペースで改訂版の発行を予定する。

2、親善交流事業

会員相互の親睦、シンガポール及びその他アジアの人達との交流を図るため下記を開催した。

- 1) 「アフタヌーン・ティ・サロン」(2013/05/30) (従来の秋開催を変更) 【50名】
- 2) 「シンガポール日本人学校OB/OG同窓会」(2013/06/08) 10周年記念として盛大に開催【110名】
(在日シンガポール首席公使を招く)
- 3) 「エビスビールとシンガポール料理で暑気払い」(2013/08/03) (恵比寿ガーデンプレイス【27名】)
- 4) 「懇親ゴルフ大会」【2013/09/03:38名】、【2014/03/12:44名】(共に大使館側からも参加いただいた)
- 5) シンガポールからの留学生との「送別会(2013/07/29)【11名】」、「懇親会(2013/10/23)【7名】」
- 6) 「ゲット・トゥゲザー」(2013/11/20【78名】)
- 7) 「初笑い落語と懇親の集い」(2014/01/30【51名】)
- 8) 「関西シンガポール同窓会」(2013/08/09【20名】)、(2014/02/07【26名】)

3、セミナー・講演事業

シンガポール及びアジア関係の下記講演会を行なった。

- 1) 「国土から考える日本人～経験から生まれた史観の特徴～」
(2013/04/20 第43回定例総会：国際文化会館【42名】)
一般財団法人 国土技術研究センター理事長 大石久和氏
- 2) 「アベノミクスの行方とアセアン諸国への影響」経済評論家 藤巻健史氏
(2013/06/20：アセアンセンター【95名】)
- 3) 「日中関係と日本経済の行方」(2014/02/13：日本工業倶楽部【134名】)
元伊藤忠商事社長・会長、元中国大使 丹羽宇一郎氏
- 4) その他講演依頼に対応 (略)

4、出版事業

前年度に引き続き「シンガポール企業経営ガイド」、「シンガポール会社法Q&A」、「シンガポールの華人社会」、「シンガポールPAP政権」、「ハローシンガポール」等の書籍を販売した。

5、広報事業

- 1) 月2回シンガポール情報をメールにて配信、季刊誌「シンガポール」を4回発行した。
- 2) ホームページの充実を努め、Facebook等を含めた掲示版等での交流が深まっている。
- 3) シンガポール日本人商工会議所(JCCI)「月報」、シンガポール日本人会「南十字星」に当協会役員の随想と共に当協会の紹介記事を継続掲載いただいている。
- 4) 公共性・公益性の高いイベントについて、依頼により「後援」を行った。

以上